



いよいよ夏本番で、浦富海岸に多くの方が訪れるようになりました。海は穏やかになり上のタイトルの背景写真のようになってきます。そのようなシーズンなので、毎年、海と大地の自然館では磯の観察会を開催しており、親子連れのお客様からは、ウミウシやタコ、タツノオトシゴ、サメの赤ちゃんなどが山陰海岸の海でこんなに身近に観察できることに驚かれます。お客様の中には観察会に毎年応募されたり、米子や鳥取県外など遠方から来られ、毎年のように定員の2倍以上の申し込みがあります。このニュースレターを読んで、少しでも多くの方が海へ行って身近な海の生物を観察できるように、磯の観察をする具体的な方法を紹介します。

1. 日本海側と太平洋側での、磯の生物の観察スタイルの違い

「磯の観察会」とは、本来は太平洋側の磯で潮が引いてできた潮だまりの生物を観察することです。そのため、長靴などで潮だまりに入って生物を探すスタイルになり、干潮時を見計らって観察します。しかし、日本海側では大陸と日本列島に囲まれているために海水の流入が制限され、潮の満ち引き（満潮-干潮の潮位差）がとても小さいです。太平洋側では、例えば2020年7月6日の満月大潮の千葉県館山市では165cmあるのに対し、日本海側の鳥取県岩美町田後では35cmしかありません。そのため、干潮・満潮に関係なく直接海水に浸かって生物を探すスタイルになります（図1）。

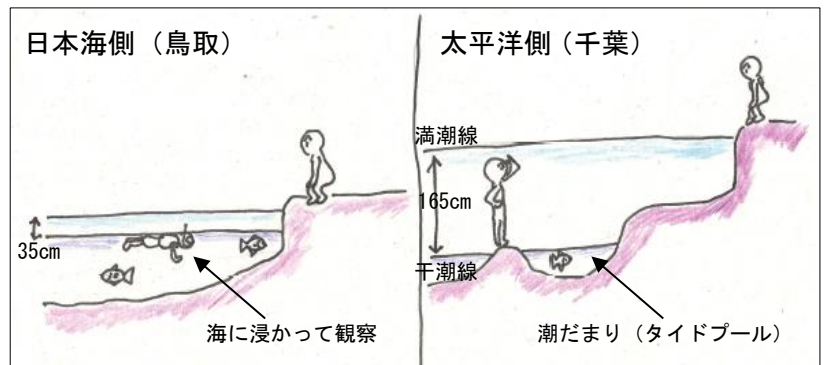


図1. 日本海側（左）と太平洋側（右）での磯の観察スタイルの違い
潮だまりができにくいので、直接水に浸かって観察する。

2. どんな服装・準備が良いのか

《服装や車内にあると便利なもの（図2）》
 □帽子 □飲み物 □水に浸かっても大丈夫な運動靴（かかとまで保護できるもの。ビーチサンダル・クロックスは不可） □ラッシュガード □軍手 □着替え □大きなタオル □ライフジャケット □車内の防水シート（濡れた状態で車に乗るため、各自で座席の防水シートをつけておく） □ポリタンクなどに入れた大量の真水



図2. 日本海側の磯の観察スタイル

日に焼きたい場合でない限り、肌は露出しないほうが良いです。日焼け防止だけでなく、行き帰りのやぶでマダニに噛まれないことや、クラゲに刺されないようにするためです。軍手があると岩や貝殻で手を切る心

配がなくなります。クロックスやビーチサンダルだと足の裏に貝や砂利が入り観察に集中できなくなります。真水入りのポリタンクは、シャワースペースがない場所や混み合って駐車場で着替える際に海水を洗う時に便利です。

《観察道具（図3）》

□バケツや穴の開いたタッパー □網 □クリアケース □カメラ（防水） □電池式のエアーポンプ

バケツは蓋つきのものに紐で本体とつなげたものだと無くさないで済みます。小さなウミウシやクラゲなどは穴の開いたタッパーに入れておき、傷つかなようにしておくが良いです。魚を狙うのなら網が必要ですが、挟み撃ちできるように2本あると良いです。カメラで写真撮影するのにクリアケースで魚の側面から撮影したり、ヒトデなどを上から撮影すると後で種類を調べやすいです。魚はすぐに酸欠や高水温で弱ったり死んでしまうので、観察の時にエアーポンプをかけて日陰に置いておくが良いです。浦富海岸の多くの場所では国立公園で生物を採集できないので、撮影が終わったらリリースしましょう。



図3. 観察道具

《中級者向けに（図4）》

小学校高学年以降で、磯の観察に慣れて物足りないと感じたら、人の背丈以上、水深5mぐらいまで行くことで、さらに多くの生物に出会えることができます。その際に大いに役立つのが、シュノーケル、マスク、足ヒレ（フィン）、ウェットスーツとフードベスト、ウェイトです。この装備で海に潜ることをスキndaイビングと言います。潜る際はライフジャケットは浮きすぎてしまうので着用はしません。近年はデジタルカメラも防水性が上がって、カメラ片手にシュノーケルで海中散歩することが可能になりました。

潜る際は、水圧が耳にかかり鼓膜が痛くなるので、鼻をふさいで耳抜きをします。マスクはそのままで曇って見えなくなるので、マスクの内側に曇り止めを塗るか、海藻のヌルヌルや唾液をこすりつけると曇りにくくなります。スキndaイビングによって海で楽しめる範囲がグッと上がりますが、正しく使えないと危険も伴うので、一度シュノーケルの講習を受けることをお勧めします。

山陰海岸は地形が入り組んで、洞門をシュノーケルでくぐったり、アジやサバ、イワシの群れの中を泳いだり、ハコフグやイシダイの幼魚と遊ぶことができます。是非、山陰海岸の海の魅力を開拓してみてください。（太田）



図4. スキndaイビングの装備



イベント

- 8/1 (土) 19:00~21:00 月と木星・土星を見よう!! (申し込み不要)
- 8/4 (火)・8/5 (水) 9:00~12:00 カヤックで行く磯の観察会 (7/7から受付開始・7/21受付終了)
- 8/22 (土) 19:00~21:00 ジオパークの星空観望会 (夏) (申し込み不要)

QRコード [詳細はこちら!](#)